

第43回ニセコ町環境審議会議事録

1. 開催日時 令和8年3月17日(火) 14:00～15:30
2. 開催方法 現地、およびZoomの併用による開催
3. 出席者 委員：本間委員、牧野委員、北村委員(オンライン)、大久保委員、
鈴木委員、徳留委員、西澤委員
事務局：田中町長、桜井課長、松居係長、永澤主任

4. 議事内容

会長および副会長の互選

⇒会長：本間氏、副会長：黒滝氏

(1) 報告事項

①令和7年度の環境に関する主要な取組概要について【資料1】【資料2】

事務局より、「資料1」「資料2」に沿って説明があった。

(委員) 「資料1」脱炭素分野に記載のあるニセコ町脱炭素推進事業補助金の内容を知りたい。

(事務局) 「資料3」に記載のとおりである。

(委員) 太陽熱を利用した給湯設備等対象にならないか。太陽光発電の効率が約20%で熱利用すると更に効率が低下すること、それに対して、熱利用は60%程度で熱利用できる優秀なアイテムであるが、補助メニューに追加できないか。

(会長) 環境省の補助金対象外の事業になっていると思う。今回の交付金からは出せない仕組みになっている。

(委員) 太陽光パネル等の導入に対して補助金が出ると思うが、処分に係る費用はどうなっているか。処分方法について詳しい知識はないが、近隣で受け入れてくれる事業者はあるのか。

(事務局) 処分に関する補助制度は町では用意していない。製品自体の耐用年数も20年程度と長寿命であり、実際に処分に至ったケースも把握できていないが、町としては太陽光パネル設備を導入する際に、設置者が責任をもって適切な廃棄・リサイクルを実施するようアナウンス(手引きにも記載)している。

(委員) 製品は薄いガラスと電気ケーブルが主になっている。表面のガラスはリサイクルできるものと考えられる。近隣で廃棄となると隣町にある事業者で受入れしてくれるだろう。2024年に自分の敷地内に垂直型太陽光パネルを設置したが、(降雪時期) 架台部分に意外と雪はたまらず、パネルが埋まるようなことはなかった。周囲に建物の少ない道路に面しているが、冬期のホワイトアウト対策になるのではないかと思う。

(委員) エネ高事業の熱のポテンシャル調査についてはどのような状況か。今後、調査

した地点に発電所や建物が建つということはあるのか。

- (事務局) 現時点では報告書が出てきていないため、どのように活用していくかは決まっていない。熱の有無や量に応じて、今後どのような活用が考えられるのか事業者から報告によって検討を進めていきたい。地中熱・温泉熱の水量や温度にもよるが、施設への暖房や給湯などをまかなえるような検討をしていきたい。
- (委員) 調査地で今後なにか事業を展開する際に、森林をごっそり切るようなことはしないでほしい。町内で開発や建築のために伐採されている所を通過すると心が痛む。伐採する木の種類を限定したり、伐採した分だけ植樹するなどできないのか。
- (委員) 普段は木こりを職業にしている。木の種類にもよるが、トドマツや林齢の高い樹木は伐採した方が二酸化炭素の吸収率が上がる場合がある。
- (委員) 「資料1」環境教育分野にある水生昆虫観察会について、非常に良い取り組みだと考えている。他にもっと環境教育に取り組めていないのか。
- (事務局) 初代の環境審議会委員の方の想いがあって2012年から始まった事業である。川釣りを得意とする方だったので、皆さんに自然(川)に触れてほしいという想いで今日まで続いている。町としても環境教育に力を入れたいところ。
- (委員) ニセコ町でNPO法人の代表をしているが、その中の取り組みでNIS-ECOという環境に配慮した取り組みをしている。町有地の森林公園が笹・やぶが生い茂っていて何かできないか考えている。町に刈り込みしても良いと確認を取ったので、きれいにして植樹活動を行った。
- (委員) 本間さんのぶどう農場で高校生や大学生を受け入れて体験させているのも良い取り組みだと思う。
- (委員) 今年度、町に太陽光を導入しているが、過去にはヒートポンプシステムを入れている公共施設もあったと記憶している。それが良かったのか、フィードバックのような報告があっても良いと思う。

(2) 令和8年度の主要な取組について【資料3】

事務局より、「資料3」に沿って説明があった。

- (委員) 消防庁舎に太陽光パネルが設置されるが、蓄電池も設置予定か。24時間体制の建物になるので、ぜひ入れてほしい。
- (事務局) ご指摘のとおり。蓄電池、エネルギーマネジメントシステムも設置予定である。

(3) 太陽光発電設備(太陽光パネル)設置現場見学

現地見学：ニセコ町学校給食センター

5. 閉会

以上